

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

YNU 国際シンポジウム 2016—高等研究院・シンポジウムシリーズ第 12 回

**「パラグアイにおけるリスク共生と開発」- Esperanza II -
パラグアイから女性省副大臣他、3 名の大学の代表が来日！**

横浜国立大学（YNU。長谷部学長）では、豊歳直之駐日パラグアイ共和国特命全権大使、パラグアイ共和国女性省副大臣、アスンシオン国立大学、ニホンガッコウ大学から代表を招くとともに、YNU でパラグアイを研究するメンバーとともに、近年投資が進むパラグアイにおける開発課題と可能性について、「リスク共生」をキーワードに討論を行います。また、昨年度に引き続きパラグアイからの留学生を含め大学院生・学部生による報告も行います。

中南米やパラグアイ関係者、環境と開発、ジェンダーと開発、国際協力にご興味のある皆さま方のご参加をお待ちしています。

開催日時：2016年1月27日（水） 10:00～17:30
（午前：学生の部 午後：研究の部）

開催場所：横浜国立大学教育文化ホール 大集会室

横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

共 催：横浜国立大学先端科学高等研究院中南米開発政策研究ユニット
横浜国立大学国際戦略推進機構

後 援：横浜国立大学都市イノベーション研究院

独立行政法人国際協力機構横浜国際センター（JICA横浜）



パラグアイにおけるYNU学生の活動

別途資料をご参照のうえ、ぜひとも周知・ご取材等をお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学学務・国際部国際課 伊藤・櫻井・李

国際企画係 Tel:045-339-3036 E-mail: kokusai.kikaku@ynu.ac.jp

【参加大学紹介】**○アスンシオン大学（パラグアイ）**

アスンシオン国立大学は1889年設立のパラグアイ屈指の国立大学で、医学部、農業科学学部、獣医学部が有名である。また、パラグアイは人口の約半数が農村に居住しており、農村開発を含めた農業科学に関する研究には顕著な実績がある。2013年度より横国学生のパラグアイショートステイの受け入れが始まり、毎年10名以上の学生が渡航し、アスンシオン国立大学での学術交流シンポジウムや学生交流を行っている。

○ニホンガッコウ大学（パラグアイ）

パラグアイにおいて、ニホンガッコウ大学は日本語と日本文化を教育カリキュラムに導入する唯一の大学である。日本語に教育に関しては、JICA ボランティアの支援によるテレビプログラム等を通して、学生はひらがなやカタカナに始まり、基本的な動詞の習得も行われている。また、生け花や茶の湯、日本料理、礼儀作法、折り紙等の実習を行い、より本格的な茶道を学ぶために茶室を大学内に設け、日本文化の普及に貢献している。

第二回中南米シンポジウム パラグアイにおけるリスク共生と開発

場 所：横浜国立大学教育文化ホール 大集会室
(キャンスマップS1-2)

言 語：日本語⇄スペイン語 逐次通訳(午前) 同時通訳(午後)

対 象：中南米との協働に関心のある本学学生と教員、市民の皆様

参加費：無料 先着150名

2016

1/27

WED



午前の部：学生の部
10:00~12:00

Sara Luz María Mármol Irala (Nihon Gakko大学院生JASSO奨学生)
佐藤鈴木セルヒオ誠吾 (横浜国立大学院学生、JICAリーダー育成奨学生)
佐々木美桜、佐藤脩平 (横浜国立大学SVパラグアイ渡航参加学生代表)

午後の部：研究の部
14:00~17:30

豊歳直之 (駐日パラグアイ共和国特命全権大使)
Estela Eresmilda Sánchez Dávalos (パラグアイ共和国女性省副大臣)
藤掛洋子 (横浜国立大学先端科学高等研究院中南米開発政策研究ユニット主任研究者)
Abel Concepción Bernal Castillo (アスンシオン国立大学長)
中村文彦 (横浜国立大学理事・副学長)
Juan Walberto Caballero Achucarro (アスンシオン国立大学兼任教授)
María Amelia Britos Bogado (Nihon Gakko大学)

